

「はやぶさ」352号 2020年08月21日(金)

アフターコロナ時代の経営戦略

新刊「**理念経営実戦のすすめ**」予告・はやぶさ版

###free1###

###name### 様

◆コロナ対策で日々奮闘しております、医療従事者や行政等の関係者に心よりの感謝を捧げます。
◆コロナショックが、私達の日常生活や経済活動はもちろんの事、政治や行政に甚大な影響を与
新しい価値体系と理念が求められていると観じています。100年に一度と云われてますが、明治
維新以来(150年前)の時代変革が地球規模で起きていると感じていますが、どうでしょうか？
そうした時期に、私の知見と50年の経営支援の経験知から、特に中小企業の経営の視座でどう
考察すべきか、近未来はどう生きたらいいのかの私見を述べます。

◆「理念経営実戦のすすめ」は、アフターコロナの時代に合わせて27年ぶりに改訂したもので、
経営者の皆さんに考働基準の参考となるよう「実戦」を中心にまとめました。10月にはお手許に
お届けできる予定です。是非、ご高覧いただければ幸いです。

~~~~~

アフターコロナ時代の経営戦略(5回シリーズ)  
新刊「**理念経営実戦のすすめ**」予告・はやぶさ版

「はやぶさ」352号 2020年08月21日(金)

【第2回】 ビジネスモデルの策定のヒント

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

・プロフィールは <http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

目次に代えて情勢により追加・変更がありますことをご理解ください。

① #351・・・200807・・・バックナンバー

http://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

本書をお読みいただきたい方・アフターコロナ時代の経営環境

② #352・・・200821・・・今回の掲載

ビジネスモデルの策定のヒント

- ③ #353・・・200904・・・
人間個人としての努力・・・自分の体のコントロール・統計データを読み解く力
- ④ #354・・・200918・・・
イノベーションが進行する時の経営指針・大成の条件
- ⑤ #355・・・201002・・・
理念経営の実戦・勇気と希望をもって・SDGs との関係

＊ ＊ 予告ですので変更することがありますので、悪しからずよろしくお願い致します。

◆本書をお読みいただきたい方・アフターコロナ時代の経営環境

＊本書は、意思決定や行動が周りや社会に大きな影響を与える、企業の経営者や管理者、組織の統括者やリーダー、経営支援家やビジネスブレーン、ジャーナリスト、ヤングエグゼクティブ、行政機関や社会インフラ維持の執行責任者等の皆さんで、この混沌とした時代においても「やらねばならぬことがある＝使命」と心魂が騒ぐ方に読んでいただければ幸いです。

~~~~~本 文~~~~~

1、ビジネス・モデルはどのように考えて策定するか？

・企業経営は、未来の経営環境に適応できなければ、マーケットから淘汰されてしまいますことを幾度も述べてきました。

経営環境には、二つの視点があります。マクロとミクロですが、

・マクロは、天変地異、国際状況、技術革新、生活スタイル（時代のトレンド）、人口減少、為替、株式等企業の自己責任だけでは解決できない課題であります。中小企業のレベルでは嵐のなかの船のように安全を保ちながら、難関突破の精神で舵を取ることにになります。

嵐はいずれ通り過ぎますので、「持続」を念じて航海します。

・ミクロは、その船の状況であり自社の内部情報です。特にエンジンと舵が万全に機能しているかポイントです。具体的には、資金力と経営力（特に船長の肝の座った指揮）なのですが詳しい解説は別の機会に譲ります。

ではビジネスモデルとは、船に例えたらどうなるのでしょうか？

船体も、エンジンも変えられない時どうするのか？ アフターコロナはそんな時代です。

① 近未来の経営環境を読み切る

人は、一人では生きられないとことを、船長は心底自覚しておかないと船は転覆するか、漂流

することになるでしょう。では、天候、海の状況をどう読み、三角波（転覆原因）をどう避けるの

か？ 普段からの訓練とワンチームの理念（運命共同体意識）が、こうした局面でモ

ノを

います。そして、灯台の光や情報のネットワークによる状況を刻々と認識する機能が大切です。

(1)その機能が、同朋とのコミュニティの構築です。つまり、そうした情報をもたらしてくれる同志

(ネットワーク)を持つことです。リーダーの重要な課題であり、資質でもあります。

(2)中小企業では、他の経営者が気づいてない「シーズ」を利活用して、マーケットの「ニッチ」に提

供することを考えます。その情報は、TV や新聞、政府等の発表等では分からないのです。公開された情報は使い古された価値しかないので、知っている情報の裏付けにしかありません。

その点の認識を多くの国民は分かっていませんし、国内のジャーナリストの姿勢は全くの商業

主義です。むしろ、欧米の情報の方が核心をついていると観じています

(3)どう環境は動くのか？三角波を読む・・・中小企業への影響の視座で・・・

テクノロジーと生活スタイル、働き方改革に絞って私の考えを述べます。

\*\*テクノロジーは、ICT の発展と AI の進化が大きくインパクトを与えます。

知見と公開された情報、自分の考え意見を誰でも云えることは、教育や広報・公報の世開を全

く変えました。180度変わったのです。

\*AI は、相当のインパクトを与えるでしょう。記憶力とマスタデータ処理は、AI に置き換えられる

でしょう。ICT は、更なる進化があるでしょう。頭が柔軟な若者でないと、適応はNGです。

\*180度変わる中で必要な資質は、「先見力」と多くの人々の支援「ファーズチーム」です。

②ビジネス・モデルを策定する・・・私のアイデア・・・中小企業において・・・

・今後、雇用の形態は変わって行きます。総合的なマネジメントや指揮は、核となる経営層のみと

なり、仕事(作業)特定された仕事に区分されるでしょう。ジョブ(JOB)単位になるのです。

今、大手企業はその方向に進んでいますし、行政もいずれその方向に進むでしょう。

人件費コストが、生き残りのポイントになるからです。つまり経営はアメリカ型に向かって

いるので

す。 (経国済民をどうするかは、別の機会に述べます)

(1)ここで問題になるのは、「費用対効果=コスパ」です。

働く人と、支払う人の納得と合理性をどこでバランスさせるか？です。発注基準と受け手の合意

がないとビジネスは継続できません。

多分、公共受注における「積算基準表=コストテーブル」のようなモノが必要になるでしょう。

つまり、JOB 毎の客観的なデータがないと、質と価格を維持できないからです。

マスタデータ処理と AI の応用でいずれ出来るでしょう。

(2)働き方が変わる・・・中小企業と地域の出番が来てます！！

・どう変わるかの私見を述べますが、ビジネスモデルのヒントでもあります。

①通勤しない・・・交通費と通勤時間のコストカット・・・時間の生産性が上がる

②職住近接・・・家族と一緒に生活でき働く姿を子供に背中で教えられる

③地域との連携・・・災害に強いコミュニティ・・・生き残り戦略のポイント

④生涯現役・・・セカンドライフで自己実現・ポックリさよなら・・・2千万円は必要ない

⑤半農半X・・・無農薬栽培コミュニティ自給自足型・マルチワーク型テレワーク

・都市からの距離があっても、「質」さえ担保できればビジネスチャンスは無限大(∞)

\*\* こうして考察してみると、地域に密着した「中小企業」でないとアフターコロナのビジネス

モデルができないことは自明です。 成功の条件のもう一つは、大手に依存しない「資本」を

自前で準備出来るかが (同朋の組織体) カギになるでしょうから、そのことにも挑戦しています。

\*\*\*\*具体的なビジネスモデルについては、次回以降に譲ります\*\*\*\*

統計データを読み解く力 は、次回に述べます。

\*大成の条件

「素直・自助努力・謙虚」・・・素直が全ての基本的姿勢です

\*リーダーの「器」とは

①先見性 ②予知能力 ③決断力 ④愛念 ですが、詳論は別の機会に譲ります。

そのリーダーの強化が災害を最小化し、回復を早めることになるのです。

つまり人材育成の教育事業なのです。

~~~~~

次回は #352号より通常の隔週・金曜日に戻りますので、よろしくお願ひします。

5回シリーズ 第3回・人間個人としての努力・・・自分の体のコントロール

統計データを読み解く力

をお送りいたします。

最後までお読みいただいて感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気でお会いしましょう！

**お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###